総務省自治大学校 Local Autonomy College

講義・演習概要（シラバス）

政策専門課程　第９期（平成 26 年 7 月 23 日～平成 26 年 8 月 8 日）

課　目　名	公共政策の基礎理論
時　限　数	２時限
担 当 講 師	東京工業大学名誉教授　宮嶋　勝 ＜プロフィール＞ 昭和４５年３月　東京工業大学理工学研究科博士課程修了（工学博士） 昭和４５年４月　㈱構造計画研究所　研究員 昭和５２年４月　東海大学工学部経営工学科助教授 昭和５４年１０月　東京工業大学工学部助教授 昭和６１年１２月　東京工業大学工学部教授 平成１７年４月　東京工業大学名誉教授 平成１７年４月　帝京大学経済学部教授 平成２４年３月　帝京大学退官
ね　ら　い	地方分権の進展により、自治体職員の政策形成能力の向上や、地域の実情に応じた独創性豊かな取組が求められています。本講義では、自治体が直面する政策課題の解決を図る公共政策について、その基礎的な理論を理解することを狙いとします。
講 義 概 要	この講義は大きな項目として三項目から構成されています。 第一の項目は、「公共政策の３つの視点」です。視点①は“行財政改革の視点”、視点②は“公平性の視点”、視点③は“住民との協働の視点”です。 第二の項目は、「中堅職員の政策形成力の育成－３つの対応－」についてです。対応①は“必需性・画一性・量的充足から選択性・個別性・ソフト化への対応”、対応②は“明構造から漠構造への対応”、対応③は“法制度論から計画論への理論面での対応”です。そして、「計画論による政策形成」の概要を講義します。 第三の項目は、「政策形成能力の向上」に向けた具体的な進め方を、“その１”～“その４”に分けて講義します。“その１”は、“政策課題の明確化－情報力の強化－”です。“その２”は、“事業目標値の設定－立案力の強化－”です。“その３”は、“シナリオ方式に強く－立案力の強化－”です。“その４”は、“事業の評価値（達成度）を持つ”です。
受講上の注意	現在、又は、今まで担当した仕事・事業を念頭に置いて講義を聴講して下さい。
使 用 教 材	・講義レジュメ：印刷物、及び、ファイルで配布します。 ・教科書：「公共政策の基礎」と「データを活用した政策形成（CD 付き）」

効 果 測 定	なし
そ の 他 **(他の課目との関連)**	教科書「データを活用した政策形成（CD 付き)」に関連して、演習課題を提示します。演習への参加は自由ですが、成果物の提出が望ましいです。 又、CD に入っている「ｅーラーニング EXCEL」を教材として、希望者向けに夕方の約 1 時間で「時間外講習」を実施します。参加は自由です。